A 試合会場レポート

試合番号 **134**　開催日 **2018/11/18**

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

会場： **丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）**

観客数:2030	開始時刻:15:00	終了時刻:17:03	試合時間:2:03	主審:村中　伸	副審:山本　晋五

サントリーサンバーズ

監督　：　荻野　正二
コーチ　：　酒井　大祐

通算　：　**6** 勝 **1** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**17**

パナソニックパンサーズ

監督　：川村　慎二
コーチ　：モッタパエス　マウリシオ

通算　：**7** 勝 **1** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：**21**

3	**25**	第1セット【0:25】	**23**	**1**
	25	第2セット【0:24】	**15**	
	23	第3セット【0:32】	**25**	
	25	第4セット【0:28】	**20**	
		第5セット【】		
ﾎﾟｲﾝﾄ **3**		【 】内はセット時間 （）内は交代選手		ﾎﾟｲﾝﾄ **0**

第1セット

25	藤中(謙) (小川)	ﾑｾﾙｽｷｰ	深津 (渡辺)	山内	**23**
	星谷	塩田	ｸﾋﾞｱｸ	福澤 (久原)	
	大宅 (加藤)	栗山	白澤	大竹	

リベロ: 鶴田　　リベロ: 永野

第2セット

25	藤中(謙)	ﾑｾﾙｽｷｰ (小川)	ｸﾋﾞｱｸ (渡辺)	深津 (陳)	**15**
	星谷	塩田	白澤	山内	
	大宅	栗山	大竹 (新)	福澤 (久原)	

リベロ: 鶴田　　リベロ: 永野

第3セット

23	藤中(謙)	ﾑｾﾙｽｷｰ	山内	久原 (福澤)	**25**
	星谷 (米山)	塩田	深津 (陳)	大竹 (渡辺)	
	大宅 (小川)	栗山	ｸﾋﾞｱｸ	白澤	

リベロ: 鶴田　　リベロ: 永野

第4セット

25	藤中(謙)	ﾑｾﾙｽｷｰ	山内	福澤 (久原)	**20**
	星谷 (米山)	塩田	深津 (陳)	大竹	
	大宅	栗山 (喜入)	ｸﾋﾞｱｸ	白澤	

リベロ: 鶴田　　リベロ: 永野

第5セット

リベロ:　　リベロ:

<監督コメント>

首位のパナソニック戦、昨シーズンは全敗だったが、今日は1セット目からリズムが良くミーティングで話したことができ主導権を握れた。３セット目はやはりパナソニックの粘りやうまいバレー展開でセットを落としてしまった。４セット目はしっかりと切り替えてくれて中盤まで競う展開であったが、サーブが機能し勝利することができた。

選手、スタッフ陣の頑張りに感謝したい。

本日もたくさんの応援有難うございました。来週も引き続き応援よろしくお願いします。

<監督コメント>

サントリーの勢いあるサーブと粘りあるディフェンスに終始押され、苦しめられた。
３セット目立て直すことができたが、４セット目終盤に自分たちのミスが出てしまい負けてしまった。

本日の反省を活かし、来週に向け調整していきたい。

本日もたくさんのご声援有難うございました。

<要約レポート>

地元大阪同士の対決となったサントリーサンバーズとパナソニックパンサーズの一戦。

第１セット序盤、一進一退の展開が続く中、パナソニック大竹のスパイクがサントリー藤中のブロックにつかまり、セットを先取する。

第２セット、サントリーセッター大宅の多彩なトスワークにより、ムセルスキーを中心に攻撃を組み立て着実に得点を重ねると、**21－９**とリードを大きく広げる。対するパナソニックは福澤から久原、大竹から新、深津から陳にメンバーチェンジをし、流れを引き寄せようとするも、サントリーが第２セットも取った。

後が無くなったパナソニックは、リベロ永野のレシーブから粘りを見せ、クビアク、福澤、山内の強弱つけたスパイクが要所で決まり、第３セットを奪い返した。

第４セット、中盤までパナソニックがリードし、勝負はファイナルセットまでもつれ込むと思われた。しかし、サントリーはホームゲームの声援を背に塩田、栗山の活躍もあり、最後はムセルスキーのスパイクが決まり、勝利を手にした。

作成者 ： 黒田　拓也

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。